

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年11月24日(2011.11.24)

【公開番号】特開2011-201890(P2011-201890A)

【公開日】平成23年10月13日(2011.10.13)

【年通号数】公開・登録公報2011-041

【出願番号】特願2011-102395(P2011-102395)

【国際特許分類】

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 K 9/127 (2006.01)

A 6 1 K 9/107 (2006.01)

A 6 1 K 9/14 (2006.01)

B 8 2 Y 5/00 (2011.01)

C 1 2 N 15/113 (2010.01)

【F I】

A 6 1 K 47/10 Z N A

A 6 1 P 1/16

A 6 1 K 9/127

A 6 1 K 9/107

A 6 1 K 9/14

B 8 2 Y 5/00

C 1 2 N 15/00 G

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月26日(2011.8.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

星細胞特異的に物質を送達する標的化剤としてのレチノイド誘導体および／またはビタミンAアナログと、これ以外の薬物担体構成成分と、星細胞の活性または増殖を制御する薬物とを含む、星細胞の活性化に起因する疾患を処置するための医薬。

【請求項 2】

星細胞の活性化に起因する疾患が線維化である、請求項 1 に記載の医薬。

【請求項 3】

星細胞特異的に物質を送達する標的化剤としてのレチノイド誘導体および／またはビタミンAアナログと、これ以外の薬物担体構成成分と、星細胞の活性または増殖を制御する薬物とを含む、線維化を抑制するための医薬。

【請求項 4】

レチノイド誘導体がビタミンAを含む、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の医薬。

【請求項 5】

星細胞の活性または増殖を制御する薬物が、TGFβ 活性阻害剤、HGF 活性製剤、MMP 産生促進剤、TIMP 産生阻害剤、PPARγ リガンド、アンジオテンシン活性阻害剤、PDGF 活性阻害剤、ナトリウムチャンネル阻害剤、アポトーシス誘導剤、ならびに、星細胞によって産生される細胞外マトリクス構成分子を標的とする、または該細胞外マ

トリクス構成分子の産生もしくは分泌に機能する分子のうちの1つまたはそれ以上を標的とする s i R N A、リボザイム、アンチセンス核酸、D N A／R N A キメラポリヌクレオチドおよびこれらを発現するベクターからなる群から選択される、請求項 1～4 のいずれか一項に記載の医薬。

【請求項 6】

細胞外マトリクス構成分子の産生もしくは分泌に機能する分子が H S P 4 7 である請求項 5 に記載の医薬。

【請求項 7】

星細胞特異的に物質を送達する標的化剤としてのレチノイド誘導体および／またはビタミン A アナログと、これ以外の薬物担体構成成分と、星細胞の活性または増殖を制御する薬物とを配合する工程を含む、請求項 1～6 のいずれか一項に記載の医薬の製造方法。

【請求項 8】

星細胞特異的に物質を送達する標的化剤としてのレチノイド誘導体および／またはビタミン A アナログ、これ以外の薬物担体構成成分、ならびに星細胞の活性または増殖を制御する薬物のうちの1つまたはそれ以上を含む1つまたはそれ以上の容器を含む、請求項 1～6 のいずれか一項に記載の医薬の調製キット。